

## 広島県芸北町のトンボ類

宮川 和夫<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup> 西中国山地自然史研究会

### The Dragonflies in Geihoku-cho, Hiroshima Prefecture

Kazuo MIYAGAWA<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup> Research Group of Natural History in Nishi-Chugoku Mountains, Geihoku-cho 731-23

**Abstract:** A number of reports on dragonflies occurring in Geihoku-cho have already been made. In our research this time, those dragonflies which appear in the past reports were investigated in more detail. As a result, 53 species belonging to 11 families were confirmed as still present. There were, however, some dragonflies including *Platycnemididae foliacea sasakii*, that could no longer be found, probably due to river improvement works which caused the deterioration of their natural habitats.

© 1997 Geihoku-cho Board of Education. All rights reserved.

#### はじめに

芸北町は年間降水量が多く、流水域や止水域ともに豊かで、かつ清澄であるため数多くのトンボ類が生息している。このことは、澤野十蔵博士が1953年以降に調査し、報文に総括されている(澤野1960, 1962, 1963)。また、後藤ら(1986)は八幡高原のトンボ相について報告し、秋山ら(1989)は「広島県の蜻蛉類」の中で芸北町のトンボ類を報告している。このように、芸北町のトンボ相については、ほぼ全ぼうが明らかになっているが、文献の中には比較的古い記録もあるため、当時とは自然環境も大きく変わった今日、既知種のトンボが生息しているか疑問であった。そこで、今回の調査では既知情報に基づき、それらのトンボ類が現在も生息しているか否かを調べることを目的とした。その結果、若干の知見を得たので報告したい。

なお、本稿を進めるに当たり、永年同定等の指導を賜った広島大学名誉教授 澤野十蔵博士、種々の有益な情報をいただいた下関市在住の小坂一章氏に対し心から敬意と謝意を捧げたい。

#### 調査方法

本調査にあたっては、個体数の減少を防ぐため、基本的には採集をしないで写真撮影するにとどめた。しかし、目撃した日時や種類によっては写真撮影の困難なものもあり、全種撮影することはできなかった。また、産地は各地区単位に1例のみ記述した。図1に芸北町の各地区の区域を示した。

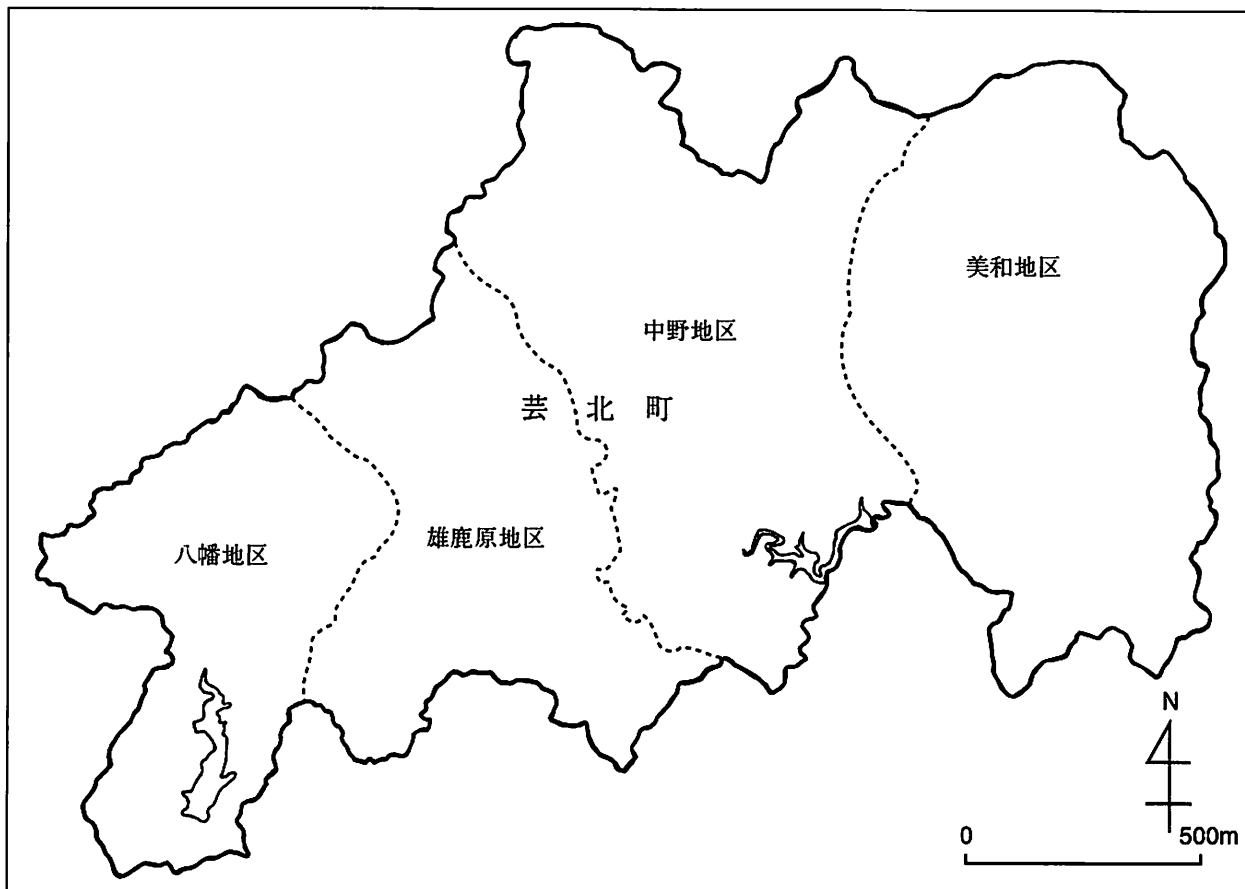


図1 調査地域

### 調査結果

11科53種のトンボを1991年4月～1995年11月末までに目撃確認したが、この中には、これまでの文献に記録されていないオオイトトンボ、コバネアオイトトンボ、アオハダトンボ、リスアカネ、ノシメトンボの5種がある。逆に、記録にありながら今回再確認できなかったものもある(表1)。モノサシトンボ科に属するゲンバイトンボは、1991年には八幡地区の細流で2♂1♀を観察したが、1992年以降は見られなかった。

### 芸北町のトンボ目録と生息状況

以下に芸北町のトンボ目録と生息状況を示す。種名および配列は石田ら(1993)によった。

#### トンボ目 Odonata

イトトンボ科 Coenagrionidae

モートンイトトンボ *Mortonagrion selenion* (Ris)

中野地区(1994年8月23日・1♀);美和地区(1995年8月7日・1♂1♀)宮川目撃。県内の分布は、沿岸部から山地まで知られているが、その産地は局地的である。今回の調査においても、体長が小さく、しかも余り飛び回らないこともあってなかなか発見できなかったが、前記2地区の休耕田や湿地を調査した

表1 芸北町内で確認されたトンボ

種名	数量	八幡地区	雄鹿原地区	中野地区	美和地区	備考
モートンイトトンボ	+	●	●	○	○	
キイトトンボ	≡	○	○	○	○	
ホソミイトトンボ				●		
アジアイトトンボ	≡	○	○	○	○	
クロイトトンボ	≡	○	○	○	○	
オオイトトンボ	+	◎				日本特産種
グンバイトンボ		●				
モノサシトンボ	≡	○	○	○	○	
コバネアオイトトンボ	+			◎		
オオアオイトトンボ	≡	○	○	○	○	
ホソミオツネイトトンボ	+	○			○	
アオハダトンボ	+				◎	
ミヤマカワトンボ	≡	○	○	○	○	日本特産種
ハグロトンボ	≡	○	○	○	○	
ニシカワトンボ	≡	○	○	○	○	西南日本特産亜種
オオカワトンボ	?	○			○	
ムカシトンボ	+	○	●	○	○	日本特産種
ムカシヤンマ	+	●	●	○	○	日本特産種
ミヤマサナエ	+	○				
ヤマサナエ	≡	○	○	○	○	日本特産種
ホンサナエ		●				
タベサナエ	+	○				日本特産亜種
コサナエ	+	○	○			日本特産種
ダビドサナエ	≡	○	○	○	○	日本特産種
クロサナエ	+			○		日本特産種
ヒロシマサナエ	+	○				日本特産亜種
オジロサナエ	+	●	○			日本特産種
ヒメクロサナエ	≡	○	○	○	○	日本特産種
オナガサナエ		●		●		
ヒメサナエ		●				
コオニヤンマ	+	○	○	○	○	
オニヤンマ	≡	○	○	○	○	
サラサヤンマ	+	○		●		日本特産種
カトリヤンマ	+	●		○		
ルリボシヤンマ	+	○	○	○	○	
オオルリボシヤンマ	+	○				日本特産種
クロスジギンヤンマ	≡			○	○	
ギンヤンマ	≡	○	○	○	○	
エゾトンボ	+	○	●	○	○	
タカネトンボ	+	○	○	○	○	日本特産種
コヤマトンボ	+	○	○	○	○	
ハラビロトンボ	≡	○	○	○	○	
シオヤトンボ	≡	○	○	○	○	日本特産種
シオカラトンボ	≡	○	○	○	○	
オオシオカラトンボ	≡	○	○	○	○	
ヨツボシトンボ	+	○		○		日本特産亜種
ハッチョウトンボ	≡	○	○	○	○	
ショウジョウトンボ	+	○			○	
ミヤマアカネ	≡	○		○	○	
ナツアカネ	≡	○	○	○	○	
アキアカネ	≡	○	○	○	○	日本特産種
マユタテアカネ	≡	○	○	○	○	
マイコアカネ		●				
ヒメアカネ	+	●	○	○		
リスアカネ	+	◎				
ノシメトンボ	+	◎				
マダラナニワトンボ		●	●			
ネキトンボ	+	●			○	日本特産亜種
キトンボ	+	○				
ウスバキトンボ	≡	○	○	○	○	

十は希～少、≡はやや普通～普通、≡≡はやや多い～多い、○は今回再認した種、●は既知種であるが、再認できなかった種、◎は今回初確認した種

ところ、草地で静止している個体を見かけた。八幡・雄鹿原両地区では未確認。

キイトトンボ *Ceriagrion melanurum* Selys

八幡地区(1991年6月29日・3♂);美和地区(1992年6月26日・1♂1♀);中野地区(1993年7月1日・1♂);雄鹿原地区(1994年7月8日・2個体)宮川目撃。県内の分布も広く、芸北町内でも全域で、池や沼などの周縁部の草に静止している個体を見かけた。

アジアイトトンボ *Ischnura asiatica* Brauer

八幡地区(1991年6月18日・1♂1♀);雄鹿原地区(1993年9月19日・4♂1♀);中野地区(1995年9月27日・2♂);美和地区(1995年9月27日・1♀)宮川目撃。県内の分布も広く、普通種と言われているが、4地区とも最盛期をはずれていたのかそれほど多くは見かけなかった。

クロイトトンボ *Cercion calamorum calamorum* (Ris)

八幡地区(1991年6月18日・2♂);雄鹿原地区(1991年6月18日・3♂1♀);中野地区(1993年7月1日・1♂1♀);美和地区(1994年7月22日・1♂2♀)宮川目撃。県内及び町内共に広く分布し、池やハス田で普通に見かけた。

オオイトトンボ *C. sieboldii* (Selys)

八幡地区(1991年6月29日・4個体)宮川目撃。県東部の内陸部には多くの産地が知られているが西部においては局地的で、既知産地として記録されているのは東広島市と安芸郡府中町のみであったが、前記のように芸北町にも生息していることが確認された。今回目撃した環境はハス田であったが、後日、水を張った他の休耕田でも見かけた。

モノサシトンボ科 Platycnemididae

モノサシトンボ *Copera annulata* (Selys)

八幡地区(1991年6月18日・2♀);雄鹿原地区(1991年9月7日・1♂);中野地区(1994年7月8日・1♂);美和地区(1994年7月8日・2♂1♀)宮川目撃。県内に広く分布し、各地に普通と言われているが、町内でも多くの場所で見かけた。

アオイトトンボ科 Lestidae

コバナアオイトトンボ *Lestes japonicus* Selys

中野地区(1992年10月2日・1♂1♀)宮川目撃。県内の産地は局限されており、既知産地は東広島市・比婆郡高野町・山県郡豊平町の1市2町であったが、今回の調査で中野地区の2カ所で確認した。

オオアオイトトンボ *L. temporalis* Selys

美和地区(1992年8月27日・1♀);八幡地区(1992年9月21日・1♂);雄鹿原地区(1995年10月27日・1♀);中野地区(1995年10月27日・2♂1♀)宮川目撃。県内に広く分布する普通種で、町内全域の溜池や湿地周縁部で低木に静止する個体を見かけた。

ホソミオツネイトンボ *Indolestes peregrinus* (Ris)

八幡地区(1994年6月2日・1♂1♀);美和地区(1995年10月27日・1♀)宮川目撃。県内に広く分布する普通種と言われているが、今回の調査で目撃したのは前記の2地区のみであった。しかし、秋山ら(1989)は、芸北町才乙(1♂1♀, 12.V, 1985, 安達採)から報告している。

カワトンボ科 Calopterygidae

アオハダトンボ *Calopteryx japonica* Selys

美和地区(1995年6月24日・1♂)宮川目撃。県内の分布は沿岸部から山地まで広いが、その産地は局限されている。町内では未記録であったが、前記のように滝山川の支流で発見した。この川の上流や下流には同属のハグロトンボがいるが、アオハダトンボの生息地点にはハグロトンボは確認できなかった。

ミヤマカワトンボ *C. comelia* Selys

美和地区(1991年6月8日・3個体);中野地区(1991年6月27日・2個体);八幡地区(1992年6月29日・3個体);雄鹿原地区(1992年6月29日・2個体)宮川目撃。県内の分布も広く、各地の溪流で普通に見られる。芸北町内においても全域の河川から海拔約1000m付近の細流まで多くの場所で見かけた。

ハグロトンボ *C. atrata* Selys

八幡地区(1993年7月9日・1♂);雄鹿原地区(1993年7月9日・2個体);美和地区(1994年8月1日・3個体);中野地区(1994年8月1日・1♂1♀)宮川目撃。県内広くに分布し、夏季流水域でよく見かけるトンボである。アオハダトンボの項で述べたように、美和地区の支流では本種とアオハダトンボが混棲していたが、生息場所も発生時期も若干異なるようである。

ニシカワトンボ *Mnais pruinosa pruinosa* Selys

美和地区(1991年6月14日・1♂1♀);中野地区(1991年6月14日・多数);雄鹿原地区(1991年6月27日・1個体);八幡地区(1993年6月23日・1♂3♀)宮川目撃。県内の沿岸部から山地まで流水域に普通に見られるトンボで、町内全域に生息しているが、同じような流水に生息するミヤマカワトンボよりも個体数はやや多い。

オオカワトンボ *M. nawai* Yamamoto

八幡地区(1994年6月11日・1♂1♀);美和地区(1995年5月18日・1♀)宮川目撃。以前は前種と区別されず、カワトンボと呼称されていたため、古い記録にはカワトンボの名で報告されている。今回の調査では、前記の2地区の開けた川で目撃した。

ムカシトンボ科 Epiophlebiidae

ムカシトンボ *Epiophlebia superstes* (Selys)

中野地区(1991年5月20日・1個体);美和地区(1992年5月7日・1個体)宮川目撃。県内の産地は山地帯に限られている。芸北町内の前記2カ所も川幅1~2mの谷川であった。この外の産地として、秋山(1989)は芸北町雲耕から報告しているが、今回の調査では未確認である。

ムカシヤンマ科 Petaluridae

ムカシヤンマ *Tanypteryx pryeri* (Selys)

中野地区(1993年6月23日・1♂);美和地区(1994年6月13日・1♂)宮川目撃。県内の分布も広く比較的普通種と言われ、秋山(1989)は芸北町尾崎湿原(2♀, 8. VII, 1986, 竹井採)から記録している。その他、八幡地区・雄鹿原地区からも報告があるが、今回見かけたのは前記2地区であった。

サナエトンボ科 Gomphidae

ミヤマサナエ *Anisogomphus maacki* (Selys)

八幡地区(1991年7月9日・1♂)宮川目撃。県内広く内陸部から山地にかけて分布するが、その産地は局地的である。芸北町内においても、調査期間中に目撃したのは前記の通り臥竜山の雪霊水付近の一カ所であるが、1990年7月19日にも阿佐山において1雄を目撃し、写真撮影した。

ヤマサナエ *Asiagomphus melaenops* (Selys)

中野地区(1993年6月23日・1♀);美和地区(1994年6月13日・1♂);雄鹿原地区(1994年7月10日・1♂);八幡地区(1995年7月9日・1♂)宮川目撃。県内広く、内陸部から山地にかけて産地が知られている。芸北町内でも、前記3地区の外、秋山(1989)は芸北町尾崎湿原(2♀, 8. VIII. 1986, 竹井採)から報告している。

タバサナエ *Trigomphus citimus tabei* Asahina

八幡地区(1991年5月23日・2♂)宮川目撃。県内広く沿岸部から山地まで分布しているが、その産地は局地的である。前記調査日に目撃した個体は2♂であったが、その後6月上旬と中旬の調査の際には雌雄共見かけた。また1995年にも目撃している。

コサナエ *T. melampus* (Selys)

八幡地区(1991年5月23日・4♂);雄鹿原地区(1993年6月9日・1♀)宮川目撃。県内の分布は中国山地とその近辺に限られており局地的である。芸北町内の記録としては、前記の2地区の外、古い記録には枕もあり、今回調査した際にも飛翔中の1個体を目撃したが採集できなかった。

ダビドサナエ *Davidius nanus* (Selys)

中野地区(1991年6月18日・1♀);八幡地区(1992年6月29日・1♂);雄鹿原地区(1992年6月29日・1♂1♀);美和地区(1993年6月6日・1♀)宮川目撃。県内の分布も広く、溪流の普通種と言われることもあるが、前記調査日が最盛期をはずれていたためか、目撃した個体は多くなかった。

クロサナエ *D. fujiama* Fraser

中野地区(1994年7月8日・1♀)宮川目撃。県内の分布は南部から中国山地まで広いが、その産地は山地帯に限られている。芸北町内では前記1カ所で目撃したが、その場所は林の中の谷川であった。

ヒロシマサナエ *D. moiwanus sawanoi* Asahina et Inoue

八幡地区(1991年5月23日・1♂)宮川目撃。「ヒロシマ」という名が表すように、これまでのところ、広島県の芸北町にだけ産する希少種である。今回の調査では、八幡地区だけで目撃したが、他の地区にも生息地があるという(小坂一章 私信)が、筆者は未確認である。

オジロサナエ *Stylogomphus suzukii* (Oguma)

雄鹿原地区(1994年7月10日・1♂)宮川目撃。県内の分布は、沿岸部から山地まで知られているが、その産地は限られている。芸北町内においても、調査期間中に目撃したのは前記の1雄のみであった。

ヒメクロサナエ *Lanthus fujiacus* Fraser

中野地区(1991年6月27日・1♀);八幡地区(1992年5月22日・1♂);雄鹿原地区(1992年5月22日・1♂);美和地区(1992年6月8日・1♀)宮川目撃。県内の分布は広く、山地溪流でよく見かけるサナエトンの1種である。芸北町内においても、全域の流水域で初夏の頃から梅雨時にかけて普通に見かけた。ただし、どこでも群棲はしていなかった。

コオニヤンマ *Sieboldius albardae* Selys

中野地区(1992年4月29日・幼虫1匹);美和地区(1993年7月26日・1個体);八幡地区(1994年8月1日・1♀);雄鹿原地区(1995年7月9日・1♂)宮川目撃。県内に広く分布しており、芸北町内でも全域

で見かけたが多くはない。

#### オニヤンマ科 Cordulegastridae

##### オニヤンマ *Anotogaster sieboldii* (Selys)

美和地区(1992年7月23日・1♀);中野地区(1992年7月23日・1♂1♀);八幡地区(1993年7月29日・2個体);雄鹿原地区(1993年7月29日・1♂)宮川目撃。県内広くに分布する普通種で、芸北町内においても全域で見かけた。

#### ヤンマ科 Aeshnidae

##### サラサヤンマ *Oligoaeschna pryeri* (Martin)

八幡地区(1994年6月11日・1♂1♀)宮川目撃。県南部の宮島や呉から中国山地まで分布は広いが、その産地は局地的である。今回の調査では、カラムツとアカマツの疎林内にある小湿地の水溜りで産卵していた1雌と、そこへ求愛に訪れた1雄を見たが、この八幡高原の地名は古い記録にも見られる。ただし、そこと今回の場所が同じかどうかは不明である。

##### カトリヤンマ *Gynacantha japonica* Bartenef

中野地区(1994年8月23日・1個体)宮川目撃。幼虫は、水田・水溜り・緩流など多様な還境に生活しており、それだけに県内の分布も広いが、なぜかどこでも個体数が減少している。町内で目撃したのは前記の通りであるが、今後、時期・時刻・場所等を考えて精査すれば生息地の増加も期待できる。

##### ルリボシヤンマ *Aeshna juncea* (Linnaeus)

八幡地区(1991年9月1日・1♂1♀);雄鹿原地区(1991年9月7日・1♀);中野地区(1995年10月30日・1♀);美和地区(1995年10月30日・1♀)宮川目撃。この他、古い記録には芸北町枕の地名も見られる。

##### オオルリボシヤンマ *A. nigroflava* Martin

八幡地区(1993年9月19日・1♂)宮川目撃。県内の産地は前種よりも局限されており、個体数も少ない。こうした傾向は芸北町においても同様で、1991年の調査開始以降現在までに目撃したのは前記1例のみである。

##### クロスジギンヤンマ *Anax nigrofasciatus nigrofasciatus* Oguma

雄鹿原地区(1992年7月21日・♂);中野地区(1992年7月23日・1♂);美和地区(1994年7月22日・1♂1♀)以上宮川目撃。この外、古い記録には八幡高原もある。県内広く分布し、各地の溜池や沼などで普通に見られると言われている。芸北町においても多くの池で目撃したが、個体数はそれほど多くはなかった。

##### ギンヤンマ *A. parthenope* Julius Brauer

八幡地区(1991年6月29日・1♂);中野地区(1992年7月23日・1♂1♀);美和地区(1992年7月23日・1♀);雄鹿原地区(1992年7月31日・1♂)宮川目撃。県内に広く分布し各地の止水域で普通に見られると言われているが、芸北町内での観察ではどこの生息地でも1~2個体であった。

#### エゾトンボ科 Corduliidae

##### エゾトンボ *Somatochlora viridiaenea* (Uhler)

八幡地区(1991年9月9日・1♂);中野地区(1994年8月1日・1♂);美和地区(1995年・9月5日・1

♂)宮川目撃。県内の分布は山地に限られており、その産地は局限されている。町内の産地としては前記3地区のほか、雄鹿原地区の俵原も古い記録にはあるが今回は確認できなかった。

タカネトンボ *S. uchidai* Foerster

八幡地区(1991年9月9日・1♀);中野地区(1994年7月8日・♂);美和地区(1994年7月8日・1♂);雄鹿原地区(1995年9月27日・1♀)宮川目撃。県内分布は前種よりも広く、沿岸部から山地まで産地が知られている。芸北町内でも全域で見かけたが、その生息地は林や藪の中の小さな池や水溜りであった。

コヤマトンボ *Macromia amphigena amphigena* Selys

八幡地区(1991年7月28日・1♂);中野地区(1992年7月4日・1♀);美和地区(1993年7月26日・1♂1♀);雄鹿原地区(1994年8月1日・1個体)以上宮川目撃。県内分布は、南部から中国山地まで広く、山地の林道上や溪流上空をパトロールする個体を見かけた。

トンボ科 Libellulidae

ハラビロトンボ *Lyriothemis pachygastra* (Selys)

八幡地区(1991年6月18日・2♂1♀);中野地区(1992年7月2日・2♂);美和地区(1993年6月6日・1♂);雄鹿原地区(1994年7月8日・3個体)宮川目撃。県内広く分布し、産地も多い、芸北町内においても全域に生息しているが、その発生期が梅雨シーズンであるため見逃すこともある。

シオヤトンボ *Orthetrum japonicum japonicum* (Uhler)

中野地区(1991年6月18日・2♀);美和地区(1993年6月22日・1♀);雄鹿原地区(1994年6月6日・1♂);八幡地区(1995年5月20日・2♂1♀)宮川目撃。県内広く分布し、産地も多く知られている。芸北町においても、5月~6月頃、町内全域で見られるが、その生息地や個体数は次種シオカラトンボよりもやや少ないようであった。

シオカラトンボ *O. albistylum speciosum* (Uhler)

美和地区(1991年7月3日・1♂);中野地区(1992年7月23日・3♂1♀);雄鹿原地区(1992年7月23日・3♂2♀);八幡地区(1993年7月9日・1♂)宮川目撃。県内広く分布する普通種で、都市近郊から中国山地までどこでも見かけることができるトンボである。芸北町内においても全域で見かけたが、発生のピークは前種よりも少し遅く7月~8月頃であった。

オオシオカラトンボ *O. triangulare melania* (Selys)

八幡地区(1991年9月9日・1♂);雄鹿原地区(1991年9月9日・1♂1♀);美和地区(1992年8月27日・1♀);中野地区(1994年8月23日・1♀)宮川目撃。沿岸部から山地まで県内広く分布しており、芸北町内でも全域で見かけたが、シオカラトンボよりも少ない。

ヨツボシトンボ *Libellula quadrimaculata asahinai* Schmidt

八幡地区(1991年6月18日・3個体);中野地区(1993年7月1日・1♂)宮川目撃。県内の産地は沿岸部から山地まであり、決して希種ではないが、これまでのところ芸北町内で目撃した生息地は前記の2地区だけであった。

ハッコウトンボ *Nannophya pygmaea* Rambur

中野地区(1991年7月8日・4♂2♀);美和地区(1992年6月26日・2♂);八幡地区(1993年7月9日・1♂1♀);雄鹿原地区(1993年7月9日・3♂1♀)宮川目撃。一時は「幻のトンボ」といわれたこともあったが、各地の調査が進み、県内の沿岸部から山地まで小規模な生息地が発見されている。芸北町内でも、



国道わきの休耕田や山間の湿地などに少数のものが生息していた。

ショウジョウトンボ *Crocothemis servilia mariannae* Kiauta

八幡地区(1991年6月18日・1♂);美和地区(1994年7月22日・1♂)宮川目撃。県内の分布は広く、沿岸部や内陸部の池沼などに希ではないが、芸北町内で目撃したのは前記のように2地区2カ所の溜池の土手に静止していた2雄だけであった。

ミヤマアカネ *Sympetrum pedemontanum elatum* (Selys)

美和地区(1991年8月13日・1♂);中野地区(1991年8月27日・2♂1♀);雄鹿原地区(1993年8月23日・1♂1♀);八幡地区(1994年8月1日・1♂)宮川目撃。県内に広く分布している普通種で、町内でも全域で目撃したが、同属のナツアカネ・アキアカネ・マユタテアカネより個体数は少なかった。

ナツアカネ *S. darwinianum* (Selys)

雄鹿原地区(1991年9月7日・2♂2♀);中野地区(1991年9月7日・2♂1♀);八幡地区(1991年9月9日・1♀);美和地区(1992年9月21日・多数)宮川目撃。県内広くに分布し、芸北町においてもアカネ属の中では普通に見られるトンボである。

アキアカネ *S. frequens* (Selys)

雄鹿原地区(1991年9月7日・多数);中野地区(1991年9月7日・3♂);八幡地区(1991年9月9日・5♂1♀);美和地区(1994年10月19日・連結産卵中の雌雄多数)宮川目撃。県内広くに分布する普通種で、芸北町においても前種ナツアカネ、次種マユタテアカネと共に全域に普通で、多くの個体を見かけた。

マユタテアカネ *S. eroticum eroticum* (Selys)

雄鹿原地区(1991年9月7日・多数);八幡地区(1991年9月9日・3♂1♀);中野地区(1992年7月28日・2♂3♀);美和地区(1992年8月27日・多数)宮川目撃。県内広くに分布する普通種で、芸北町内でも普通に見られた。1992年8月下旬には美和地区の緩流で多くの雌雄を目撃したが、交尾シーズンだったのかススキの葉上で三組、流れの中の岩上で二組が連結していた。

ヒメアカネ *S. parvulum* (Bartenef)

雄鹿原(1992年9月21日・1♂);中野地区(1992年9月21日・2♂)宮川目撃。県内分布は沿岸部から山地まで広いが、産地や個体数は比較的少ない。芸北町内では前記2地区の他、八幡高原(1♂, 29. 1. X, 1987, 竹井採)で記録されている(秋山ら 1989)。

リスアカネ *S. risi risi* Bartenef

八幡地区(1991年8月31日・1♂)宮川目撃。県内広く分布し産地も多いが、芸北町での記録は前記1例である。調査期間中、翅端の黒いトンボを目撃する度に捕えて確認したが本種は1♂のみで、他はマユタテアカネ(翅端黒化型)の雌であった。

ノシメトンボ *S. infuscatum* (Selys)

八幡地区(1995年10月30日・2♂2♀と性別不明の2個体)宮川目撃。県内広く沿岸部から山地まで分布しているが、その産地は局地的である。芸北町内においてはこれまで採集・目撃されていなかったが、前記の溜池周辺の地上で交尾中のものや追飛中の個体を確認した。

ネキトンボ *S. speciosum speciosum* Oguma

美和地区(1992年8月27日・1♂)宮川目撃。県内広く沿岸部から山地まで分布しているが、その産地は局地的である。芸北町内の産地としては、前記の美和地区の溜池の他、秋山ら(1989)は八幡高原で記録しているが、今回の調査では確認できなかった。

キトンボ *S. croceolum* (Selys)

八幡地区(1995年10月30日・5♂3♀)宮川目撃。県内広くに分布し、沿岸部から山地まで産地が知られているが、今回の調査で目撃した町内の産地は前記の1地区1カ所の溜池であり、交尾・産卵の時期で、連結して岸部で産卵していた。この他、古い記録には、美和地区枕の溜池もあるが、今回は確認できなかった。

ウスバキトンボ *Pantala flavescens* (Fabricius)

美和地区(1991年9月21日・1♀);中野地区(1992年8月21日・3個体);雄鹿原地区(1992年9月2日・2個体);八幡地区(1994年8月23日・1♂)宮川目撃。県内広くに分布し、各地に普通。町内においても全域で目撃した。方言名を「盆とんぼ」と呼ばれ、かつては盆の頃に稲田の上や草原上空を群飛する光景をよく見かけたが、最近ではそれほどの大群は見られない。

### 参 考 文 献

- 秋山美文・中村慎吾・安達隆昌・竹井洋右 1989 広島県の蜻蛉類 比和科学博物館研究報告28:11-68  
朝比奈正二郎 1971 原色昆虫大図鑑Ⅲ 358pp 北隆館  
石田昇三・小島圭三・石田勝義・杉村光俊 1993 日本産トンボ幼虫・成虫検索図説 140pp 東海大学出版会  
植村好延 1985 生物大図鑑昆虫Ⅰ 431pp 世界文化社  
後藤孝彦・垣内田攻樹・南 健一 1986 八幡高原の昆虫類総説及び昆虫目録 臥竜山麓公園(仮称)地域の環境調査報告書:50-60 広島県  
澤野十蔵 1960 広島県の蜻蛉類第1報 比和科学博物館研究報告(3):10-16  
——— 1962 同 上 第2報 比和科学博物館研究報告(5):24-27  
——— 1963 同 上 第3報 比和科学博物館研究報告(6):5-8

1996年9月10日受付;1997年1月10日受理

### 図 版 1

- A:モートンイトトンボ 1994年8月23日 中野地区  
B:キイトトンボ 1991年6月29日 八幡地区  
C:クロイトトンボ 1947年7月22日 美和地区 交尾  
D:オオイトトンボ 1991年6月29日 八幡地区  
E:モノサシトンボ 1994年7月8日 美和地区 交尾  
F:ゲンバイトンボ 豊平町 参考写真  
G:オオアオトンボ 1995年10月27日 中野地区 連結  
H:コバネアオイトトンボ 1992年10月2日 中野地区 連結  
I:ホソミオツネントンボ 1994年2月 八幡地区 連結

图版 1

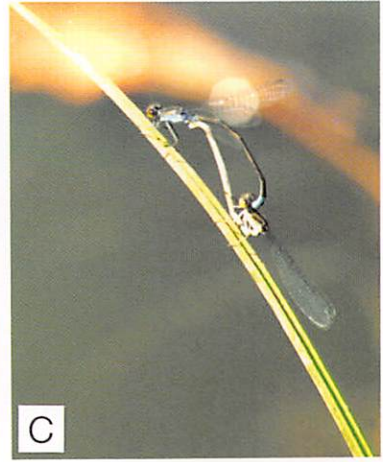


図 版 2

A : アオハダトンボ		千代田町	参考写真
B : ミヤマカワトンボ	1991年6月8日	美和地区	
C : ハグロトンボ	1994年8月1日	中野地区	
D : ニシカワトンボ	1991年6月14日	美和地区	
E : オオカワトンボ	1994年6月11日	八幡地区	交尾
F : ムカシヤンマ	1993年6月23日	中野地区	
G : ミヤマサナエ	1990年7月19日	美和地区	
H : ヤマサナエ	1994年6月13日	美和地区	脱殻
I : ホンサナエ		千代田町	参考写真

图版 2

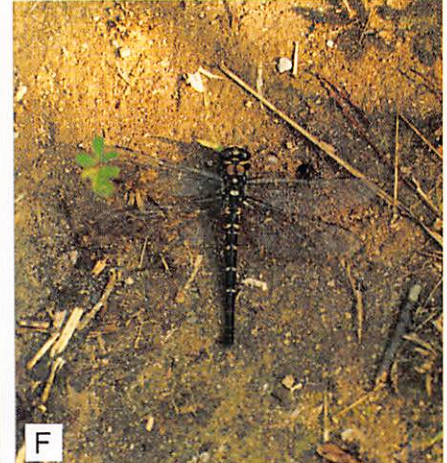
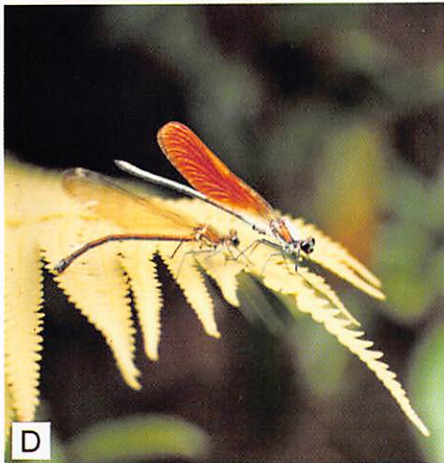


図 版 3

A : コサナエ	1991年 5 月23日	八幡地区	
B : ダビドサナエ	1991年 6 月18日	中野地区	
C : タベサナエ	1994年 5 月23日	八幡地区	
D : クロサナエ	1994年 7 月 8 日	中野地区	
E : ヒロシマサナエ	1991年 5 月23日	八幡地区	
F : オジロサナエ	1994年 7 月10日	雄鹿原地区	
G : ヒメクロサナエ	1992年 5 月22日	雄鹿原地区	
H : コオニヤンマ	1990年 4 月29日	中野地区	幼虫
I : オニヤンマ	1992年 7 月23日	美和地区	

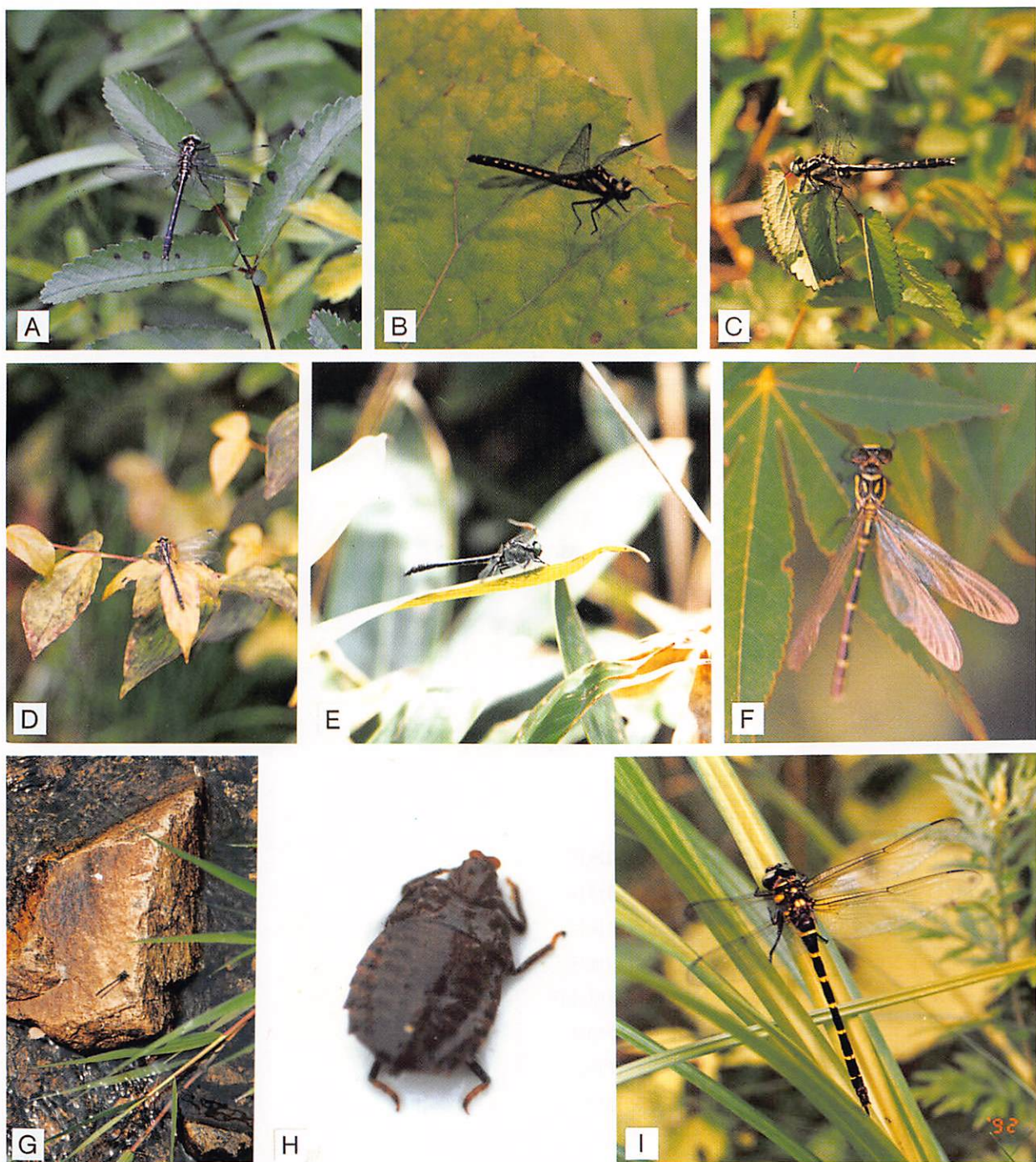
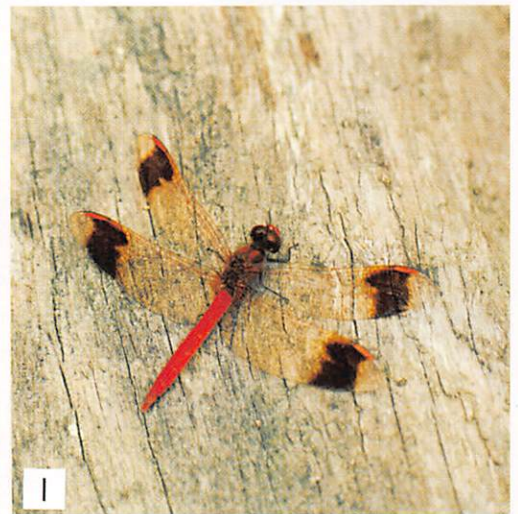
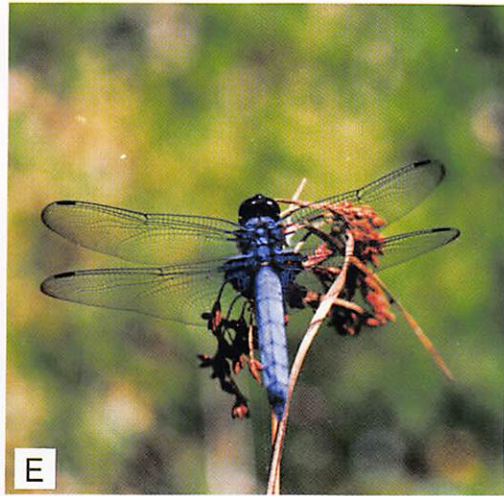


図 版 4

A : コヤマトンボ	1993年 7 月 26 日	美和地区
B : ハラビロトンボ	1991年 6 月 18 日	八幡地区
C : シオヤトンボ	1995年 5 月 20 日	八幡地区
D : シオカラトンボ	1991年 7 月 3 日	美和地区
E : オオシオカラトンボ	1991年 9 月 9 日	雄鹿原地区
F : ヨツボシトンボ	1993年 7 月 1 日	中野地区
G : ハッチョウトンボ	1991年 7 月 3 日	中野地区
H : ショウジョウトンボ	1994年 7 月 22 日	美和地区
I : ミヤマアカネ	1991年 8 月 13 日	美和地区





A : ナツアカネ	1991年 9 月 7 日	中野地区	
B : アキアカネ	1994年10月19日	美和地区	集団産卵
C : マユタテアカネ	1992年 8 月27日	美和地区	交尾
D : ヒメアカネ	1992年 9 月21日	雄鹿原地区	
E : ノシメトンボ	1995年10月30日	八幡地区	交尾
F : ネキトンボ	1992年 8 月27日	美和地区	
G : キトンボ	1995年10月30日	八幡地区	産卵前飛行
H : ウスバキトンボ	1991年 9 月 2 日	美和地区	

